

2016年3月16日配信

報道関係 文化・音楽ご担当者
音楽ジャーナリスト／関係者 各位

ソロ・コンサートマスター大谷康子が退団 当楽団の名誉コンサートマスターに就任

東京交響楽団ソロ・コンサートマスター大谷康子は、2016年3月31日付で契約期間満了にて退団いたします。

大谷康子は1995年4月、当楽団コンサートマスターに就任。2007年4月からはソロ・コンサートマスターとして計21年間活躍いたしました。確かなリーダーシップでオーケストラを率い、歴代コンサートマスターの中で最も長い期間を務め、ソリストとしても当楽団主催公演へ計28回出演いたしました。その功績を称え、当団としては初の「名誉コンサートマスター」の称号を贈ることいたしました。

大谷康子は退団後、ソリストとして国内外のオーケストラとの共演や、ソロ・リサイタルが予定されており、益々活躍の場を広げていきます。

主催公演への最後の出演は、2016年3月26日(土)第638回定期演奏会、2016年3月27日(日)川崎定期演奏会第54回です。

大谷康子 Yasuko Ohtani

東京交響楽団ソロ・コンサートマスター

2015年、デビュー40周年を迎えた。愛器ピエトロ・グアルネリを携えた華やかなステージ、深く温かい演奏は聴衆に感動と喜びを届けている。東京芸術大学、同大学院博士課程修了。日本全国の年間100回に及ぶコンサート活動に加え、ウィーン・ザルツブルグ・ベルリン・ケルン・ローマなどヨーロッパでのリサイタル、トロント音楽祭への出演、シュトゥットガルト室内楽団・スロヴァキアフィルとの共演など、海外でも意欲的に活動を展開してきた。40周年記念となった昨年は1公演で続けて4曲の協奏曲を演奏し、前代未聞の快挙と大きな話題となった。またキエフ国立フィルハーモニー管弦楽団の日本ツアーのソリスト、ジャズ界の巨匠ピアニスト・山下洋輔氏とのコンサートなど多彩な演奏活動を繰り広げ、充実した年となった。文化庁「芸術祭大賞」受賞。川崎市市民文化大使、高知県観光特使、日本交響楽振興財団理事などを務める。東京音楽大学教授。CD多数。

- 2016年3月26日(土)第638回定期演奏会
- 2016年3月27日(日)川崎定期演奏会第54回



指揮＝ドミトリー・キタエンコ ヴァイオリン＝成田達輝 コンサートマスター＝大谷康子

チャイコフスキー：歌劇「エフゲニ・オネーギン」～ポロネーズ／ヴァイオリン協奏曲 二長調
ショスタコーヴィチ：交響曲 第5番

【取材等お問合せ】

公益財団法人東京交響楽団 広報本部 高瀬 takase@tokyosymphony.com
TEL: 044-520-1518 FAX: 044-543-1488